



博物館とまちなかで歴史探検!!

大津百町

大博覧会



◎大津百町大博覧会スケジュール

開催イベント	期 間	場 所
【企画展】大津百町 マチから始まるモノがたり	3/2土 ▶ ▶ 4/14日	大津市歴史博物館企画展示室
【ミニ企画展】大津の古文書6 大津百町の誕生	2/26水 ▶ ▶ 4/14日	大津市歴史博物館常設展示室
百町をマッピング! 地図と写真と思い出と	3/16土 ▶ ▶ 4/14日	旧大津公会堂3階
写真がつなぐ過去と今。物語がつむぐ人とまちの未来。 オールドオーツ「物語の誕生」2013	3/16土 ▶ ▶ 3/31日	旧大津公会堂2階 多目的ホール
古老が語る大津百町の思い出 証言VTRでたどる百町むかしがたり2013	3/16土 ▶ ▶ 3/31日	大津百町館
学生たちが写真で表現する大津の現在 大津百町2013-まちなかの記録-	3/16土 ▶ ▶ 3/31日	大津百町館

表紙 写真上 木曾海道六拾九次のうち大津 歌川広重画 大津市歴史博物館蔵
写真下 八町通 昭和32年 大津市歴史博物館蔵 (谷本勇氏撮影)

【主催】大津市 大津市教育委員会 大津市歴史博物館 いまきいとき隊 大津の町家を考える会
成安造形大学写真メディア研究室 シネファンク 株式会社まちづくり大津

お問合せ 大津市歴史博物館 〒520-0037 大津市御陵町2-2 ☎077-521-2100
http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp

まちなか会場 旧大津公会堂

企画 大津市歴史博物館

百町をマッピング！

—地図と写真と思い出と—

会 期 3月16日土～4月14日日 (月曜日、3月21日は休み)

開催時間 午前9時～午後5時

会 場 旧大津公会堂3階 (大津市浜大津一丁目4 1)

古い地図や写真を見ると 当時の様々な思い出がよみがえります。本展では、ちょっと昔の地図や写真、また昭和40年代の浜大津周辺の精密な模型などを展示します。これらに是非とも皆さんの思い出を書き加えてください！

企画 シネファンク

写真がつながる過去と今。物語がつむぐ人とまちの未来。

オールドオーツ『物語の誕生』2013

会 期 3月16日土～3月31日日 (月曜日、3月21日は休み)

開催時間 午前9時～午後5時

会 場 旧大津公会堂2階 多目的ホール (大津市浜大津一丁目4 1)

家庭のアルバムに眠る思い出の写真を手掛かりに、それにまつわるお話をインタビュアーが聞き取り、写真と物語で一枚のパネルを作り上げました。それを語り手と聞き手の共同作品として、みなさまにご覧いただきます。

まちなか会場 大津百町館

企画 いまさいとき隊

古老が語る大津百町の思い出

証言VTR④たどる百町 むかしがたり2013

会 期 3月16日土～3月31日日 (月曜日、3月21日は休み)

開催時間 午前9時～午後5時 会場 大津百町館 (大津市中央一丁目8 13 丸屋町商店街内)

人々のキョクに残る百町の思い出を、映像で記録する試みです。懐かしそうに話される方々の様子や古い写真を通して かつての百町での生活の様子を、皆さんのキョクに重ねあわせてください。

企画 成安造形大学写真メディア研究室

学生たちが写真で表現する大津の現在

大津百町2013 —まちなかの記録—

会 期 3月16日土～3月31日日 (月曜日、3月21日は休み)

開催時間 午前9時～午後5時 会場 大津百町館 (大津市中央一丁目8 13 丸屋町商店街内)

成安造形大学の学生たちが、現在の大津のまちなかの様子を記録することをテーマに、それぞれの問題意識表現で作品制作を行なう写真展。学生たちが取材を通して見た大津百町をご覧ください。

観覧
無料

観覧
無料

観覧
無料



大津 唐崎図のうち大津図(部分) 岸竹堂筆 明治9年 株式会社千総蔵

おとつりくちやう

「大津百町大博覧会」は、大津市の中心市街地、いわゆる「大津百町」に焦点を当て開催するものです。会場は、歴史博物館と百町のまちなかに設け 博物館と市民グループ大学等が共同して開催します。これは、各会場での展示をご覧いただいた後、現在の百町を実際にご覧いただきたいという願いによるものです。マチは生き物のように日々変化していきます。皆さんが履歴書を書かれるように、私たちは、「大津百町の履歴書」を作り 変化の記録を残しておくことが必要だと考えています。是非とも、それぞれの会場や百町の市街地を巡っていただき、皆さんが体験された貴重な思い出や、これからのマチに対する思いを、この大博覧会にお寄せいただければと思います。皆さんと一緒に、百町の履歴書を完成させたい。それが、この大博覧会の大きな目的なのです。

平成25年

主催者

大津市歴史博物館会場

企画 大津市歴史博物館

企画展 大津百町 —マチから始まるモノがたり—

会 期 3月2日土～4月14日日 (月曜日、3月21日は休館)

開催時間 午前9時～午後5時 (入場は午後4時30分まで)

会 場 大津市歴史博物館企画展示室 (大津市御陵町2-2)

大津百町を探索すると都市の変化を示す痕跡がたくさん残されています。舟入堀の跡や、かつての湖岸線に残された石垣、江戸時代の面影を残す町家など それらの事柄に秘められたマチの歴史を、大津百町に関する貴重な歴史資料によってわかりやすく紹介します。

観覧料 一般 800円(640円) 高大生 400円(320円)、小中生 無料

() 内は15名以上の団体、市内在住の65歳以上の方、市内在住の障害者の方の割引料金

ミニ
企画展

大津の古文書6 大津百町の誕生

企画 大津市歴史博物館

会 期 2月26日火～4月14日日 (月曜日、3月21日は休館)

開催時間 午前9時～午後5時 (入場は午後4時30分まで)

会 場 大津市歴史博物館常設展示室 (大津市御陵町2 2)

百町誕生以前の室町 戦国時代、江戸時代の町人組織や年中行事など 大津百町に関わる古文書を一挙大公開。百町の歴史を古文書から考えます。

常設展示のみ観覧の場合

観覧料 一般 210円(160円) 高大生 150円(120円)、小中生 100円(80円)

() 内は15名以上の団体料金。市内在住の65歳以上の方、市内在住の障害者の方は無料

大津百町 大博覧会

絵図や写真と思い出で「大津百町の履歴書」づくり

大津の中心市街地、いわゆる「大津百町」の風景は、昔と比べて随分変わった。時期を戦後に限ってみても、年配の方々は、高度経済成長による湖畔の埋め立てや、まちなかでの道路拡張、山手などでの住宅開発を目の当たりにされ、その変貌を体験されている。その思い出を聞き取り、記録しておくことは、より詳細な歴史を後世に残すことになる。

明治10年代の大津町遠望 本館蔵
三井寺観音堂からの撮影。画面中央の通りは長等神社の参道。
見渡す限り瓦屋根が続いている。

まちは生き物だ。私たちが自分の「履歴書」を書くように、マチの「履歴書」も残しておかなければならない。また昔のことだけではなく、現在も、そして将来に渡っても「履歴書」を書き続けることが必要だ。それがいつしか「歴史」になっていくのだから。そんな思いで、平成22年度、写真で大津百町の「むかし」を振り返り、「いま」のまちを記録する「大津百町大写真展」を開催した。

この作業は、歴史博物館だけでは成しえない大仕事だった。出発点は、市内の写真家・谷本勇氏から20万「コマ」にのぼる古写真を寄贈していただいたことだった。

すれ「歴史」となることだろう。

会場の選定では、あえて歴史博物館を外し、旧大津公会堂や大津百町館など、まちなかでの開催にこだわった。それは、展示された、「むかし」と「いま」の写真を見て、まちなかに繰り出してもらいたかったからに他ならない。

平成23年度も、この事業は続いた。初年度をベースに、新たに登録文化財となった町家を紹介する「大津百町まち遺産写真展」（大津市中心市街地活性化協議会、そして、年配の方たちへのインタビュ



大津百町写真展に寄せられた感想メモ
平成22年度の様子



昭和40年代の浜大津周辺の復原模型
西村雅幸氏製作。旧大津公会堂で展示予定

ービデオを公開した（いまきいとき隊）。そして今年度、タイトルを「大津百町大博覧会―博物館とまちなかで歴史探検!!―」とし、これまでの活動の集大成（と言えば大袈裟だが）となるよう企画した。今回は、重要文化財をはじめとする百町の歴史を物語る貴重な資料を大津市歴史博物館（博物館会場）で展示し、まちなかで開催する各展覧会（まちなか会場）を結び方法で実施することにした。そのラインナップは、2〜3頁に列挙したが、いずれも主催者が展示するだけではなく、ご覧になった方々の実体験や数々の思い出話を提供していただくことで完成するものばかりだ。双方が、つになって、「大津百町の履歴書」をつくっていききたい。それこそが「大津百町大博覧会」の大きな目的なのだから。

現在、大津百町は、様々な人々が町の活性化のための取り組みを行なっている。百町の豊かな歴史と皆さんの思い出やこれからのまちに対する思いで完成する「大津百町の履歴書」は、将来のまちづくりにとっても、きっと有益な財産となることだろう。

大津百町

—マチから始まるモノがたり—

会 期 平成25年3月2日(土)～4月14日(日) (月曜日、3月21日は休館)

開館時間 午前9時～午後5時 (入場は午後4時30分まで)

会 場 大津市歴史博物館企画展示室 (大津市御陵町2-2)

観 覧 料 一般 800円(640円) 高大生 400円(320円)、小中生：無料
()内は15名以上の団体、市内在住の65歳以上の方、市内在住の障害者の方の割引料金。
前売券は、大津市観光案内所(大津駅・石山駅・堅田駅前)、大津市民会館、ローソンチケット(Lコード54130)をはじめ京阪津地区の主なプレイガイドで2月16日から3月24日まで発売。

主 催 大津市 大津市教育委員会 大津市歴史博物館

後 援 NHK大津放送局、NHK(びわ湖放送)、radio

交通機関 京阪電鉄石坂線別所駅より徒歩5分
JR湖西線大津京駅より徒歩15分
JR琵琶湖線大津駅よりバス10分(別所下車)
無料駐車場 (乗用車約70台)



大津百町を歩いたら
歴史探検! この1冊!!

大津百町ガイドブック

大津百町の歴史をマチの痕跡からたどる展示解説図録。
約200点の図版と解説でまちなかを歴史探検!!
A5変型版128ページ、オールカラー、1,000円

期間中には
こんなイベントも!

大津百町市

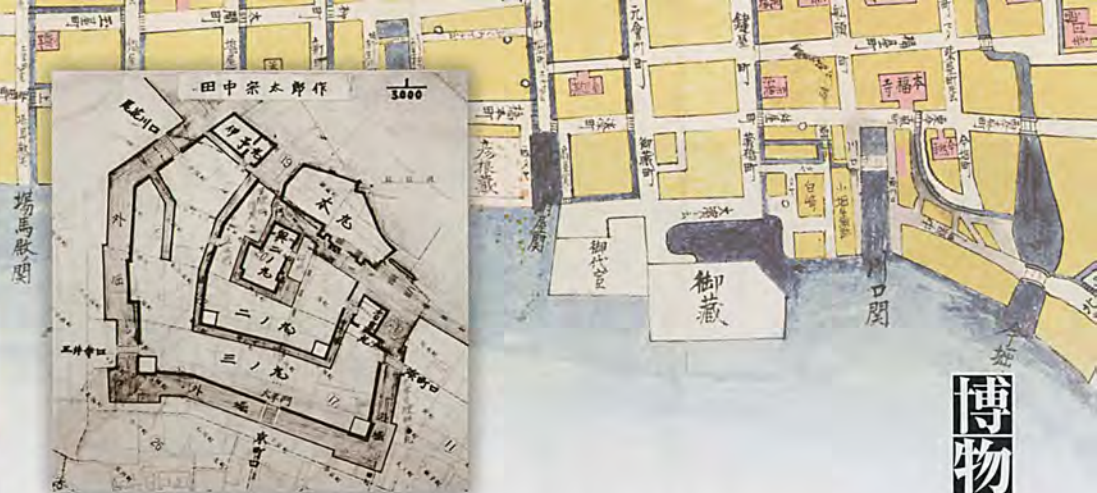
平成25年3月16日(土) 9:00～14:00
会場/天孫神社境内 (大津市京町三丁目3-36)
新鮮野菜や手作り布製品や小物など様々なお店が並ぶ
【主催 株式会社まちづくり大津】

<つながり from 石坂>

平成25年3月18日(月)～3月30日(土)
会場/大津市市民活動センター
(大津市浜大津四丁目1-1 明日都浜大津1F)
京阪石坂線をフィールドにした高校生の写真展。
比叡山高校写真部 膳所高校写真班
【主催 石坂線21駅の顔づくりグループ】

石坂線みんなde文化祭

平成25年3月17日(日)～3月30日(土)
会場/京阪電車石坂線 車両
京阪石坂線沿線学生の作品展
【主催 大津の京阪電車を愛する会】



大津城推定縄張り図 本館蔵

絵図を比べると、江戸時代の御蔵などの突出し部分が、大津城の本丸跡だったことが分かる。

博物館会場の「みどころ」

歴史博物館を会場として開催する企画展「大津百町—マチから始まるモノがたり—」の「みどころ」を紹介しておきたい。

最初に、百町のイメージづくりとして、江戸時代から昭和期にかけての絵地図や屏風絵、巻物、古写真、鳥瞰図などを展示した。なかには見上げるような大絵図や東海道筋を詳細に描いた重要文化財の巻物もある。また明治時代の古写真も、4頁の写真などは序の口で、百数十年前の彩色写真も実に貴重だ。

次に百町の持つ様々な横顔、港町 宿場町 門前町の様子を、初公開も含めた資料で紹介する。湖岸の舟入や諸藩の蔵屋敷の絵図、本陣の絵図や皇女和宮の宿泊時に描かれた天井画、歌川広重の浮世絵、両手を広げて足りない大きな園城寺(三井寺)の境内図絵馬、天領幕府直轄領を支えた大津代官の木像など。また、明治から昭和にかけて大きく変化した市民生活の様子を、各商店の引札(チラシ)や商店案内双六、映画ファン必

見の宣伝チラシなどで紹介する。

最後に、市街地の拡大と風景の変貌を、戦後の湖岸埋め立てや 国鉄(現JR)大津駅の設置と駅前の整備といった視点で紹介する。戦後の高度経済成長にもなって実施された埋め立てで、湖岸の料理旅館などは姿を消し、浜大津で水泳や釣りをした、という年配の方々の体験は、歴史のひとコマとなってしまった。また、駅前の30メートル道路(現中央大通)開通などに象徴される市街地の拡大や風景の変貌などの様子も、懐かしい古写真などによって明らかにする。

今も、まちなかに人知れず残る歴史の痕跡に、実は秘められた数多くの歴史物語がある。今回の企画展では、その秘められた歴史を、展示資料によって明らかにしていきたいと考えた。展示した資料の時代を、戦国時代から現代までとしたのも、あくまで百町の「いま」から「むかし」を振り返っていただきたいと考えたからだ。企画展をご覧になった後、是非ともまちなかを巡っていただき、百町の魅力を感じとってくださいれば幸いです。